

こいぶみの前身「ひろしまる倶楽部」の表紙を飾ってくださったみなさんを、11年経過した今、再び訪れて「今」を話していただきました。

農地を守るため 農業の魅力を 家族に伝えたい

佐伯区八幡
住田 紀昭さん

住宅が立ち並ぶ広島市佐伯区八幡に住田さんのご自宅と圃場があります。

住田さんは運送業のドライバーでしたが、代々受け継いできた農地を守るため、21年前に専業農家となりました。就農当初は、水稻30aとハウス2棟で青ネギを生産していましたが、現在はハウスを4棟に増やし、作物を青ネギに絞って、奥さまと娘さんの力

も借りながら年5回のサイクルで生産出荷しています。

「この地域で一番早くハウスを建て

た」という住田さんは、幼少期から実家の農作業を手伝っていたため、就農にあたっても迷うことなく、自分でできることは自分で行ってきました。例えば、青ネギを露地栽培から周年で出荷できるようにと水耕栽培に変え、さらにそのために必要なハウスや栽培装置も、配管以外は住田さんが自作しました。

住田さんの青ネギは、農彩館五日市「ファーマーズマーケット」のほかJA直販を通じて広島市のスーパーなどで販売しています。多い時でひと月に4000束（30ヶ



2019

住田さんの農地は、次の世代に受け継がれていきます。



▲育苗中の青ネギ。すくすく育っています。



▲収穫した青ネギは、一本一本、丁寧に調整します。

2008

